

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2001年 4月17日

出 願 番 号

Application Number:

特願2001-118289

出 願 人

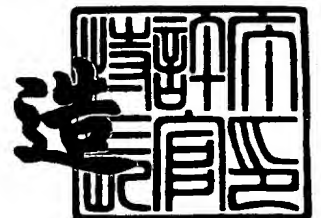
Applicant(s):

トヨタ自動車株式会社

2001年 5月11日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3039049

【書類名】 特許願

【整理番号】 TY1-4927

【提出日】 平成13年 4月17日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/30

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社
内

【氏名】 北村 伸彦

【特許出願人】

【識別番号】 000003207

【氏名又は名称】 トヨタ自動車株式会社

【代理人】

【識別番号】 100075258

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉田 研二

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100081503

【弁理士】

【氏名又は名称】 金山 敏彦

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100096976

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 純

【電話番号】 0422-21-2340

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2000-220241

【出願日】 平成12年 7月21日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008268

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710076

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報提供システム及び方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークに接続されたサーバコンピュータ及びクライアントコンピュータを用いて情報を提供するシステムであって、

前記サーバコンピュータは、送信する時間に応じて広告料金に変化する広告データを前記クライアントコンピュータに送信することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載のシステムにおいて、

前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからのアクセス回数に応じて広告料金に変化する広告データを送信することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 3】 請求項 1、2 のいずれかに記載のシステムにおいて、

前記広告データは地図データに関連付けられ、かつ関連付けられる地域に応じて前記広告料金に変化することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 4】 請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のシステムにおいて、

前記広告データは広告面積に応じて前記広告料金に変化することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 5】 請求項 4 記載のシステムにおいて、

前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからのアクセス回数に応じて前記広告面積を変化させることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 6】 通信ネットワークに接続されたサーバコンピュータ及びクライアントコンピュータを用いて情報を提供するシステムであって、

前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからの要求に応じて広告データを前記クライアントコンピュータに送信し、かつ、前記広告データを前記クライアントコンピュータに送信する時間に応じた課金データを前記クライアントコンピュータに送信することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 7】 請求項 6 記載のシステムにおいて、

前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからの要求回数に

応じて前記課金データを変化させることを特徴とする情報提供システム。

【請求項 8】 提供する時間に応じて定められた広告料金テーブルに従って
広告データを受付け、

受付けた広告データを通信ネットワークを介して提供する
ことを特徴とする情報提供方法。

【請求項 9】 請求項 8 記載の方法において、
前記広告料金テーブルは、前記提供する時間及びアクセス回数に応じて定めら
れることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 10】 請求項 8、9 のいずれかに記載の方法において、
前記広告料金テーブルは、前記広告データが掲載される地域に応じて定められ
ることを特徴とする情報提供方法。

【請求項 11】 広告データの送信要求を通信ネットワークを介して受け付
け、

前記広告データを通信ネットワークを介して送信要求元のコンピュータに送信
し、

提供する時間に応じて定められた課金テーブルに従って前記送信要求元に課金
データを送る

ことを特徴とする情報提供方法。

【請求項 12】 請求項 11 記載の方法において、
前記課金テーブルは、送信要求回数に応じて定められることを特徴とする情報
提供方法。

【請求項 13】 請求項 2 記載のシステムにおいて、
前記広告データは w e b ページ内に表示され、
前記広告料金は前記アクセス回数が増大するほど高くなり、前記 w e b ページ
に関する料金は前記アクセス回数が増大するほど安くなることを特徴とする情報
提供システム。

【請求項 14】 請求項 9 記載の方法において、
前記受け付けた広告データは w e b ページ内に表示され、
前記広告料金テーブルは前記アクセス回数が増大するほど料金が高くなるテ

ブルであり、前記webページに関する料金テーブルは前記アクセス回数が増大するほど料金が安くなるテーブルであることを特徴とする情報提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は情報提供システム及び方法、特に広告情報の提供に関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネット等の通信インフラの発達に伴い、広告情報をインターネットを介して提供する技術が開発されている。

【0003】

例えば、webページの所定位置にバナーと呼ばれる広告情報を付加してユーザ端末に表示する技術が知られている。

【0004】

また、特開平11-296540号公報には、地図データと広告情報を記憶し、ユーザが地図上の所望の位置情報を端末から指定すると、その位置に対応する広告情報をユーザの端末に送信する技術が記載されている。これにより、ユーザが関心のある地域と関連する広告を効率的に提供できるとしている。また、各地域に対応する広告を複数用意し、時間帯に応じて広告内容を変更して表示することも記載されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、webページに広告を掲載する場合、掲載するwebページの種類や掲載する期間に応じて広告料金が決められているにすぎず、広告情報をユーザ端末に送信する時間帯によって広告の効果が異なるという事実を反映していなかった。例えば、ある地域の情報に関するwebページについてはユーザは昼間よりも夜にアクセスする傾向がある場合、そのwebページに掲載するバナー広告は昼間よりも夜に提供することが効果的であり、広告料金もこれに応じて可変とすることが妥当であるが、従来においては一律に広告料金を定めており、広

告提供者及びwebページ提供者（例えばプロバイダなど）双方にとり効率的な運用とは言い難い問題があった。

【0006】

また、ユーザにとって比較的有益な情報と考えられるため、広告情報を有料でユーザに提供する場合においても、提供する時間に応じて広告情報の価値が変動することが知られているが、従来においてはこのような価値の変動は課金に反映されておらず、より柔軟かつ効率的な運用が求められていた。

【0007】

本発明は、上記従来技術の有する課題に鑑みなされたものであり、その目的は、従来以上に効率的に広告情報を収集し、また効率的にユーザに対してその広告情報を提供することができるシステム及び方法を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、通信ネットワークに接続されたサーバコンピュータ及びクライアントコンピュータを用いて情報を提供するシステムであって、前記サーバコンピュータは、送信する時間に応じて広告料金に変化する広告データを前記クライアントコンピュータに送信することを特徴とする。均一な広告料金ではなく、送信する時間、すなわちサーバコンピュータからクライアントコンピュータに広告データを送信するタイミングに応じて広告料金を変化させることで、広告提供者から効果的に広告データを収集できるとともに、収集した広告データをユーザにも提供することができる。サーバからクライアントコンピュータへの送信は、ユーザからの要求に対して行ってもよく、あるいはユーザからの要求無しに行ってもよい。

【0009】

ここで、前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからのアクセス回数に応じて広告料金に変化する広告データを送信することが好適である。アクセス回数が多いということは、その分だけ多くのユーザに広告データを提供することができることを意味し、広告の価値あるいは効果が高いことを意味する。そこで、アクセス回数に応じて広告料金を変える、より具体的にはアクセス

回数が多い程広告料金を高くすることで、効率的に広告データを収集することができる。

【0010】

また、前記広告データは地図データに関連付けられ、かつ関連付けられる地域に応じて前記広告料金が増加することが好適である。地図データ上に広告データを掲載することで、ユーザは自己の関心がある地域の広告データを効率的に知ることができるが、当該地域における広告の価値は広告の種類等によって変化し得る。例えば、ある地域においてはユーザは特定の店舗の情報、例えば飲食店関係の広告データを多く欲する場合がある。そこで、広告データが関連付けられる地域に応じて広告料金を変化させることで、より効率的に広告データを収集してユーザに提供することができる。

【0011】

また、前記広告データは広告面積に応じて前記広告料金が増加することが好適である。より具体的には、広告面積が増大するほど広告料金を増大させることが望ましい。

【0012】

また、前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからのアクセス回数に応じて前記広告面積を変化させることが好適である。アクセス回数はユーザの関心の高さを示しており、ユーザの関心の度合いに応じてその広告面積を変化させる、より具体的にはアクセス回数が増大する程広告面積を増大させることで、ユーザに対しより効果的に広告データを提供でき、ユーザは容易に広告データを得ることができる。

【0013】

また、本発明は、通信ネットワークに接続されたサーバコンピュータ及びクライアントコンピュータを用いて情報を提供するシステムであって、前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからの要求に応じて広告データを前記クライアントコンピュータに送信し、かつ、前記広告データを前記クライアントコンピュータに送信する時間に応じた課金データを前記クライアントコンピュータに送信することを特徴とする。均一な課金とするのではなく、ユーザに対

して広告データを送信した時間、すなわちユーザからの要求に応じてサーバコンピュータから送信するタイミングに応じて課金を変化させることで、効果的に広告データをユーザに提供できる。

【0014】

ここで、前記サーバコンピュータは、前記クライアントコンピュータからの要求回数に応じて前記課金データを変化させることが好適である。ユーザからの要求回数（アクセス回数）が多い程、その広告データに多くの関心が集まり、情報としての価値も高いので、要求回数に応じて課金を変化させることで、経済的に広告を提供できる。

【0015】

また、本発明の情報提供方法は、提供する時間に応じて定められた広告料金テーブルに従って広告データを受付け、受付けた広告データを通信ネットワークを介して提供することを特徴とする。均一な広告料金ではなく、提供する時間に応じて定められた広告料金とすることで、広告データを効率的に収集できる。なお、広告料金テーブルは、電子データとしてコンピュータ内に記憶させてもよく、あるいは視認可能な媒体、例えば紙で有形化してもよい。

【0016】

また、前記広告料金テーブルは、前記提供する時間及びアクセス回数に応じて定められることが好適である。

【0017】

また、前記広告料金テーブルは、前記広告データが掲載される地域に応じて定めてもよい。

【0018】

また、本発明の情報提供方法は、広告データの送信要求を通信ネットワークを介して受け付け、前記広告データを通信ネットワークを介して送信要求元のコンピュータに送信し、提供する時間に応じて定められた課金テーブルに従って前記送信要求元に課金データを送ることを特徴とする。均一な課金ではなく、提供する時間に応じて定められた課金とすることで、広告提供者及びユーザ双方にとり経済的なメリットが生じる。なお、課金テーブルは、電子データとしてコンピュ

ータ内に記憶しておくことができ、適宜、ユーザに提示することができる。

【0019】

また、前記課金テーブルは、送信要求回数に応じて定められることが好適である。

【0020】

なお、本発明における通信ネットワークには、有線、無線を問わない。また、公衆回線であっても、専用回線であってもよい。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づき本発明の実施形態について説明する。

【0022】

図1には、本実施形態のシステム概念図が示されている。WWWサーバ10、ユーザ端末12、広告提供者の端末14がインターネット等の通信ネットワークで相互に接続される。WWWサーバ10には、地図データその他、広告提供者から供給された広告データが記憶される。広告データは、地図データ内の特定地域に関連付けられて記憶されており、地域との関連付けは広告提供者が指定することができる。地図データ及び広告データは、例えばHTMLで記述され、webページの形式で記憶される。地図データ上の地域と広告データを関連付ける方法として、地図上の道路路線図をベースとし、モンタージュのように広告データを重ね合わせる方法を用いることができる。例えば、道路路線図を第1層目とし、第2層目に病院関係の広告データ、第3層目にホテル関係の広告データ、第4層目に商店の広告データ、第5層目に映画館の広告データ・・・等である。広告データの表示形式としては、その施設のアイコンを示すとともに、アイコン近傍にその施設に関する情報を表示する等が考えられる。もちろん、webページの任意の位置にバナー形式で表示することもできる。広告データが付加された地図データのwebページには一意にURLアドレスが付与されており、ユーザ端末12からのHTTPプロトコルを用いた要求により該当するwebページがWWWサーバ10からユーザ端末12に送信される。

【0023】

WWWサーバ10に記憶される広告データは、広告提供者の端末14から通信ネットワークを介して供給されるが、通信ネットワークを介さず「オフライン」で供給されてもよい。広告提供者から広告データを受け付ける場合、WWWサーバ10は当該広告データをユーザ端末12に送信する時間に応じて定まる広告料金に基づいて受け付ける。すなわち、本実施形態では、webページに掲載される広告データの広告料金は送信時間により異なっている。広告提供者に対してwebページの広告スペースを貸し出す際の貸出料金が貸し出すタイミングにより異なっていると言い換えることもできる。広告データの送信が終了した後、あるいは広告期間中の所定のタイミングでWWWサーバ10は広告提供者あるいは広告提供者の端末14に対して課金データを送る。この課金データは、広告データが送信された時間（あるいは時間帯）に応じて計算されたものである。

【0024】

一方、ユーザはユーザ端末12を操作することで所望のwebページをWWWサーバ10から受信し、webブラウザ等を用いて端末に表示することができ、特定の地域についての広告データも見ることができる。

【0025】

図2には、ユーザ端末12に表示される地図データ及び地域に関連する広告データの一例が示されている。地図画面100内には商店等のアイコンとともにその広告102、104が表示される。ユーザがアイコンをクリックするとその広告が表示されるようにしてもよい。

【0026】

広告提供者あるいはWWWサーバ側が望む場合、広告データを有料とすることもでき、ユーザが有料広告データを端末12上に表示した場合、WWWサーバ10は課金データをユーザ端末12に送信する。この課金データも、広告データが送信された時間に応じて定められる。

【0027】

図3には、広告提供者から広告データを受け付ける際の広告料金の一例が示されている。図において、横軸は広告データがユーザ端末12に対して送信される時間（あるいは時間帯）であり、5時～12時～0時～5時までの24時間表記

である。縦軸は広告料金である。図において、5時～8時までは2000円、8時～11時までは1000円、11時～14時までは2000円、14時～17時までは3000円、17時～20時までは4000円、20時～5時までは5000円となっている。広告提供者は、広告料金体系を見て、どの時間帯について広告データを提供することが効率的であるかを容易に判断することができる。図3の時間と広告料金との関係はテーブルとしてWWWサーバ10に記憶させておき、広告提供者が端末14を用いて適宜参照できるようにすることが好ましい。また、広告提供者から広告データが供給された場合、WWWサーバ10はその広告データのユーザ端末に対する送信時間と記憶されたテーブルから広告料金を算出し、広告提供者に送信してもよい。もちろん、WWWサーバ側で図3に示される時間と広告料金との関係を示すテーブルを視認可能な形式（例えば紙）で保持し、広告提供者に適宜示して広告データを受け付けてもよい。

【0028】

図4には、広告提供者から広告データを受け付ける際の広告料金の他の例が示されている。この例では、広告料金は時間（あるいは時間帯）に応じて変化するとともに、その広告データが関連する地域、すなわち広告データが掲載される地域によっても変化する。例えば、千代田区丸の内に掲載される広告データは、5時～8時までは500円、8時～11時までは3000円であるが、千代田区神保町に掲載される広告データは、5時～8時までは1000円、8時～11までは2500円と変化している。このように、地域に応じて広告料金を変化させることで、一層効率的に広告データを受け付けることができる。

【0029】

図5には、広告提供者から広告データを受け付ける際の広告料金のさらに他の例が示されている。この例では、広告料金は時間（あるいは時間帯）に応じて変化するとともに、その広告データに対するユーザからのアクセス回数によっても変化する。アクセス回数はWWWサーバ10内のアクセスカウンタで計数することができ、この計数結果に基づいて広告料金を変化させる。変化の方法としては、例えば下限しきい値及び上限しきい値を設け、ユーザからのアクセス回数が下限しきい値に達しない場合には基本料金（図3に示された広告料金を基本料金と

する)を500円だけ下げ、逆にユーザからのアクセス回数が上限しきい値を超えた場合には基本料金を500円だけ上げる、等である。

【0030】

図において、実線は基本広告料金を示し、点線がアクセス回数に応じて変化させた後の広告料金を示す。5時～8時までは2000円から1500円に低下し、8時～11時までは1000円から500円に低下している。また、11時～14時までは2000円から1500円に低下し、14時～17時までは3000円から2500円に低下している。一方、17時～20時までは4000円から4500円に上昇し、20時～5時までは5000円から5500円に上昇している。

【0031】

一般に、基本料金は過去のアクセス回数やユーザの嗜好などを統計的に処理して最適と思われる値に設定するが、時間の経過とともに基本料金が必ずしも妥当でなくなる場合もあり得る。そこで、アクセス回数に応じて広告料金を増減調整することで、より適切な広告料金を設定でき、広告提供者及びWWWサーバ側双方にとって効率的なものとなる。

【0032】

なお、例えば広告提供者からの広告データをwebページの任意の位置にバナー形式などで表示する場合、広告データが掲載されているwebページの内容(コンテンツ)が優れていれば多くのユーザが当該webページにアクセスすることとなり、このために広告へのアクセス回数も増大することになる。すなわち、広告データへのアクセス回数は、webページのコンテンツに応じて変化することになる。したがって、アクセス回数が増大するほど広告料金が高くなるような課金データを生成する場合、当該広告データが掲載されるwebページの提供者に対しては、そのwebページの掲載料(webページの広告料金)がアクセス回数に応じて安くなるような課金データを生成してwebページの提供者に送信することもできる。図9には、このようにアクセス回数に応じてwebページ提供者に対する課金データの一例が示されている。図において、ユーザアクセス数が1万PV(ページビュー)の場合には広告提供者に対する広告料金の値上げ率

に対応させて3%の値下げとし、ユーザアクセス数が4万PVの場合には同様に広告提供者に対する広告料金の値上げ率に対応させて15%の値下げとしている。仮に、webページを1週間掲載した場合の基本料金が50万円である場合、WWWサーバ10はユーザアクセス数が1万PVの場合にはwebページ掲載料は48.5万円となり、4万PV以上ではwebページ掲載料は42.5万円となる。このように、アクセス回数に応じてwebページ掲載料を調整することで、webページ提供者に対してもより優れたコンテンツを作成するインセンティブを与えることになる。

【0033】

なお、アクセス回数に応じて広告料金を増減変更するとともに、web画面上の広告スペースをアクセス回数に応じて変化させることも好適である。ユーザのアクセス回数が多いということは、それだけユーザの関心が高いことを意味するから、その広告をページ内でより目立つように表示することは、広告提供者及びユーザ双方にとりメリットがある。

【0034】

図6には、アクセス回数に応じて広告面積を変化させる場合の、ユーザ端末12に表示される画面例が示されている。(A)は初期状態の画面例であり、広告のアイコン106は標準的な大きさで示されている。一方、(B)はユーザからのアクセス回数が上限しきい値を超えた場合の画面例であり、広告のアイコン106は(A)に比べて拡大して表示されている。これにより、広告提供者は自己の広告をユーザに対してアピールすることができるとともに、ユーザにとっても関心のある広告をページ内で容易に視認することが可能となる。なお、広告面積をアクセス回数に比例して増大させることも可能である。アクセス回数に応じて広告料金を変化させる際に、アクセス回数に応じて変化する広告面積を基準として広告料金を算出することもできる。具体的には、アクセス回数が上限しきい値を超えた場合にもとの広告面積を2倍とし、広告面積を2倍としたことにより広告料を50%増大させる等である。

【0035】

図7には、ユーザがWWWサーバ10から所望のwebページを要求し、広告

を見た場合にWWWサーバ10からユーザ端末12に対して課金される金額が示されている。有料とするのは、例えば情報誌とタイアップした店舗情報や店舗とタイアップしたイベント情報、アルバイト情報、不動産情報、オークション参加、入札システム（例えば、深夜ホテルに1万円以下で泊まりたいという条件をユーザから示すと近傍の広告掲載ホテルが条件に合致する部屋を提示しユーザが気に入ったホテルを予約するシステム）等が考えられる。

【0036】

図に示されるように、ユーザに対して課金するデータも、ユーザに対してその広告データを送信する時間に応じて変化する。情報の価値は時間とともに低下する場合があります、例えばある店舗におけるセールス情報は、早ければ早い程ユーザにとり価値がある（セールスの半ばでその情報を取得したとしても、目当ての品は既に売り切れの場合があり得る）。そこで、例えばイベントなどの3ヶ月前までは400円を課金し、3ヶ月～2ヶ月前までは200円、2ヶ月前～1週間前までは100円、1週間前～当日までは無料としている。このように、時間の経過とともに課金を低下させることで、例えばスポーツや演劇、ミュージカル、音楽会のチケット、深夜のホテルの空部屋予約等、広告提供者（売り手）が売りたいと欲しているものを確実に売ることができ、またできるだけ安く情報を得たいと欲するユーザにとってもメリットが生じる。

【0037】

図8には、ユーザ端末12に対して送信される課金データの他の例が示されている。WWWサーバ10には、このようなテーブルが記憶されており、ユーザが要求した広告データの種別及び要求した時間（すなわち広告データをユーザ端末12に対して送信した時間）からこのテーブルに基づいて料金を算出し、ユーザ端末12に課金データとして送信する。広告データの種別としては、チケット購入情報、バーゲン（セールス）情報、情報マガジン誌の情報があり、例えばバーゲン情報については、前日までは300円/回（1回のアクセス当たり300円）、当日の10時までは250円/回、当日の14時までは150円/回、当日の17時までは100円/回、当日の17時以降は無料としている。もちろん、図において、アクセス回数に応じて基本課金料を増減調整することも好適である

【 0 0 3 8 】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、種々の変更が可能である。例えば、本実施形態では、ユーザ端末 1 2 としてコンピュータを想定しているが、WWWサーバ 1 0 から送信された広告データを受信できるものであれば任意の機器でよく、PDAや携帯電話でもよい。

【 0 0 3 9 】

また、ユーザ端末 1 2 が車両に搭載され、車両ナビゲーション画面上に広告データが表示されるようにしてもよい。この場合、ナビゲーションシステムの情報センタから広告データが各車両の端末に送信されることになる。

【 0 0 4 0 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明では広告料金やユーザに対する課金を一定ではなく時間に応じて可変としたので、効率的に広告データを収集し、ユーザに提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 実施形態のシステム概念図である。

【図 2】 地図及び広告データの表示画面を示す説明図である。

【図 3】 時間と広告料金との関係を示すグラフ図である。

【図 4】 時間及び地域と広告料金との他の関係を示す図である。

【図 5】 時間及びアクセス回数と広告料金との関係を示すグラフ図である。

【図 6】 広告面積の変化を示す説明図である。

【図 7】 時間とユーザ課金との関係を示すグラフ図である。

【図 8】 時間とユーザ課金との他の関係を示す図である。

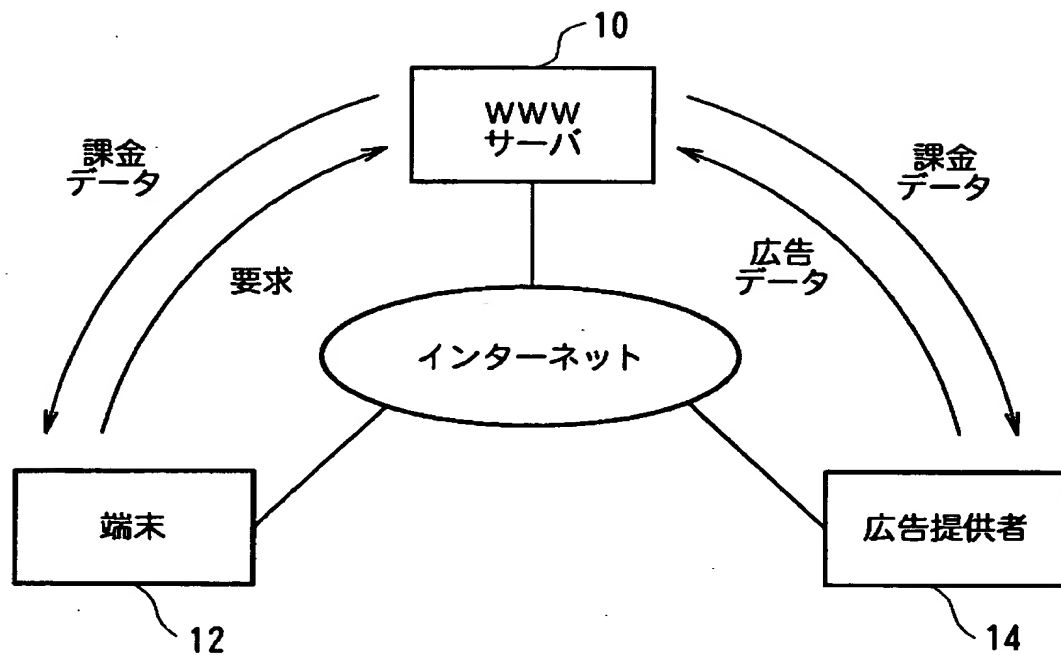
【図 9】 アクセス回数とwebページ掲載料との関係を示す図である。

【符号の説明】

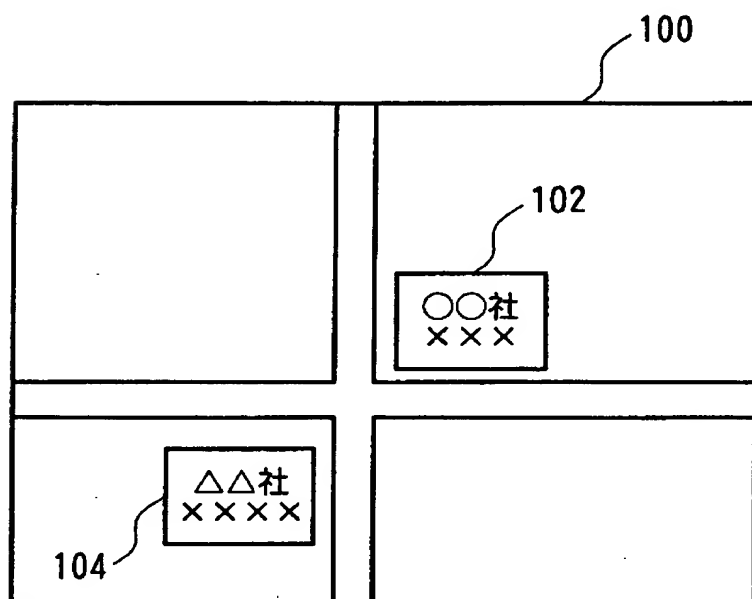
1 0 WWWサーバ、1 2 ユーザ端末、1 4 広告提供者端末。

【書類名】 図面

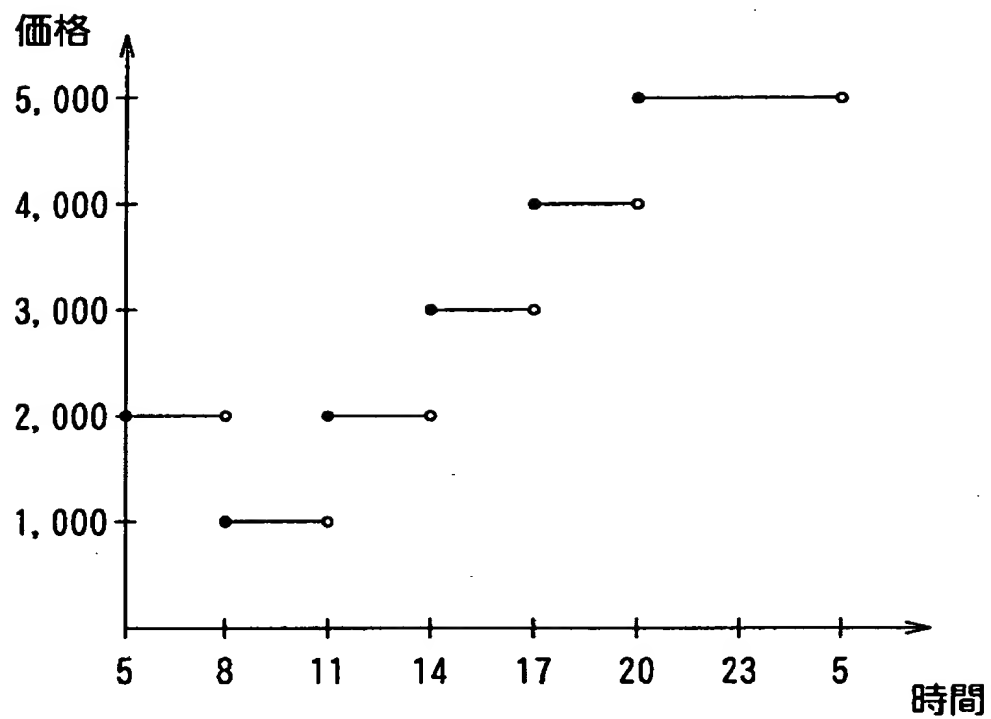
【図 1】



【図 2】



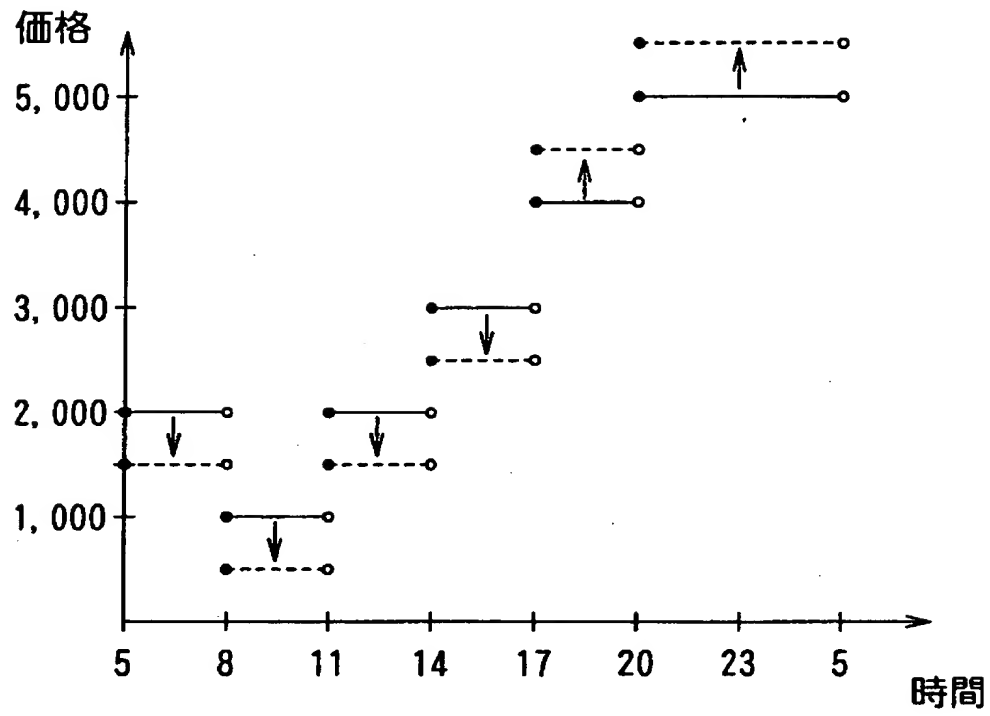
【図 3】



【図4】

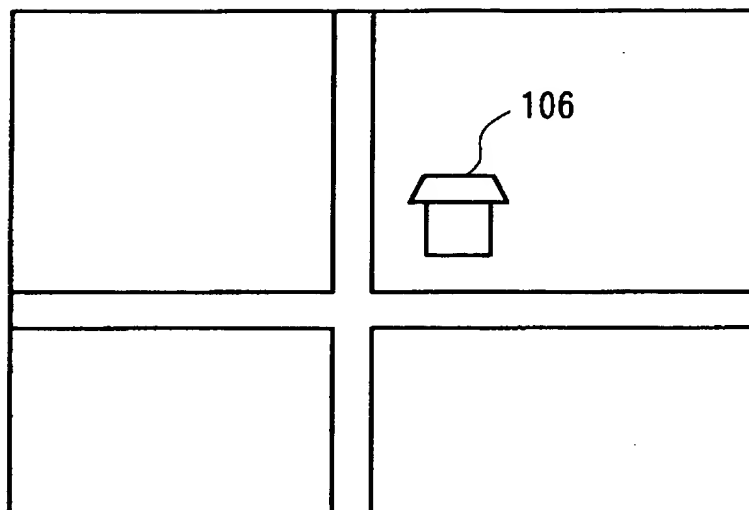
	平日	早朝(5~8)	午前(8~11)	昼(11~14)	午後(14~17)	夕方(17~20)	夜(20~23)	深夜(23~5)
新宿区	歌舞伎町	2000	1000	2000	3000	4000	5000	5000
	西新宿	1000	2000	4000	3000	4000	3000	1000
	戸山	1000	1500	2000	2000	1500	1000	1000
	・							
渋谷区	・							
	・							
	道玄坂	1000	2000	3000	3000	4000	4000	3000
	宇田川町	1000	2000	3000	3000	2000	2000	1000
	神宮町	1000	2000	3000	3000	3000	2000	1000
	広尾	1500	2000	2500	2500	3000	3000	2000
	・							
千代田区	・							
	丸の内	500	3000	2500	3000	2500	2500	500
	神保町	1000	2500	3000	3000	2500	2500	1000
	内神田	500	1500	2500	3000	2500	2000	1000
	・							
	・							
	・							

【図 5】

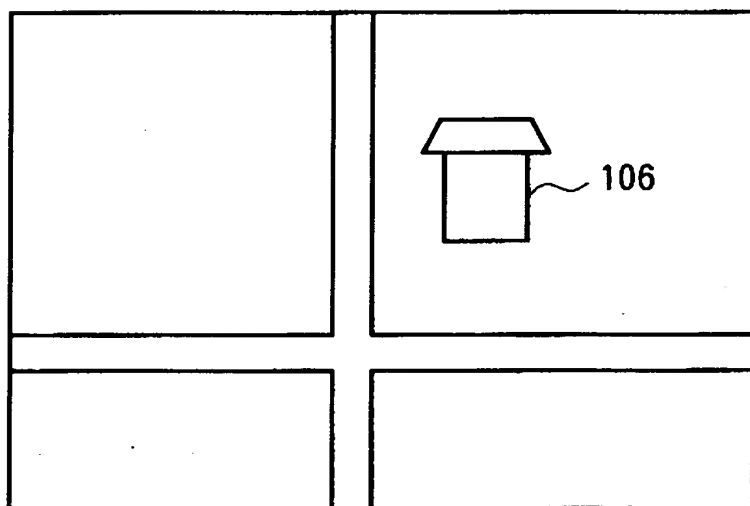


【図 6】

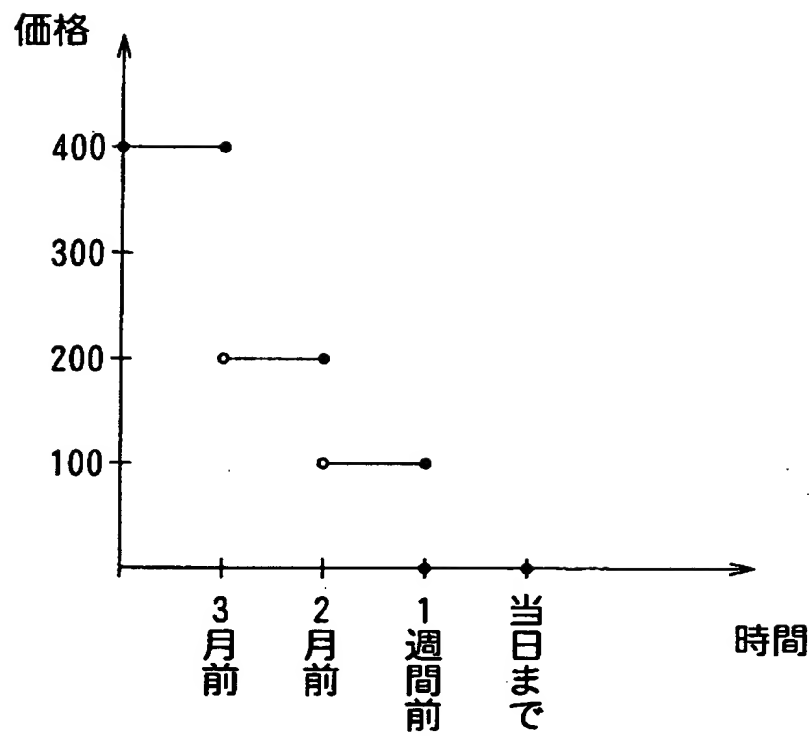
(A)



(B)



【図 7】



【図8】

チケット購入情報	劇・ミュージカル	3ヶ月前	2ヶ月前迄	1週間前迄	当日迄
		500円/回	200円/回	100円/回	無料
		1ヶ月前	1週間前迄	当日6時間前迄	当日6時間前以降
バーゲン情報	スポーツ	500円/回	200円/回	100円/回	無料
		当日10時迄	10～14迄	14～17時	17時以降
		250円/回	150円/回	100円/回	無料
情報マガジン誌の情報		発売日から1週間前迄	発売日から1週間前以降		
		100円/回	50円/回		

【図 9】

ユーザー数	1 万 P V	1 ～ 2 万 P V	2 ～ 3 万 P V	3 ～ 4 万 P V	4 万 P V 以上
割引率	3 % 割引	5 % 割引	7 % 割引	1 0 % 割引	1 5 % 割引
割引後請求 料金	4 8 . 5 万 円	4 7 . 5 万 円	4 6 . 5 万 円	4 5 万 円	4 2 . 5 万 円

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 広告提供者から効率的に広告データを収集し、ユーザに対して広告データを提供する。

【解決手段】 広告提供者は端末 1 4 から広告データをWWWサーバ 1 0 に送信し、WWWサーバ 1 0 はユーザ端末 1 2 にインターネット等の通信ネットワークを介して広告データを送信する。広告提供者に対する広告料金を送信時間帯に応じて変化させ、また、ユーザに対する課金も送信時間帯に応じて変化させる。広告料金や課金は、アクセス回数に応じて増減させてもよい。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000003207]

1. 変更年月日	1990年 8月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛知県豊田市トヨタ町1番地
氏 名	トヨタ自動車株式会社